

京都府子育て支援審議会・京都府少子化対策審議会
京都版母子健康手帳の作成に関する検討会（第1回）
議事概要

- ◆日 時： 令和4年5月2日（月） 12時45分～14時15分
- ◆場 所： 京都府医師会館2階会議室
- ◆出席者： 委員 別添名簿のとおり（小島委員、長谷川委員はオンライン出席）

1 開会

2 議事

- (1) 部会長の選出 互選により杉岡委員を部会長として選出
- (2) 「京都府における母子保健の現状と課題」[資料1・2]（事務局）
 - （委員）論点案にある親子健康手帳という名前は決定なのか。
 - （事務局）一例として挙げたもの。現在の名称からの変更が必要かどうかも含めて議論したい。
- (3) 「リトルベビーハンドブックについて」[資料3]
 - （ゲストスピーカー：国際母子手帳委員会事務局長 板東あけみ氏）

3 その他（委員意見交換）

【主な委員意見】

- 母子健康手帳が誰のためのものであるのかを改めて考えつつ、手帳の本来の趣旨を見失わないよう議論を進めるべき。
- 将来の健康につながるもの、というメッセージを込めていきたい。
- 子育て全般に対する「父親」の役割と、母子手帳による働きかけについても検討すべき。
- 母子健康手帳そのものに関する議論だけで完結するものではなく、働き方改革や教育との連携などを考えるべき。
- 府域での妊産婦支援の統一等、手帳以外の部分の府域共通化を促進すべき。
- 低出生児や医療的ケア児等、母子健康手帳でカバーが不足する部分は増えてきており、それを補う、保護者の目線に立ったハンドブック等があるとよい。
- 電子化を前提とするのは時期尚早ではないか。

（ 以 上 ）